
俊介

美結

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俊介

【Nコード】

N3286A

【作者名】

美結

【あらすじ】

あたしが俊介を好きなこと、俊介があたしを一瞬でも好きになってくれたこと。それだけであたしはシアワセだから。

俊介と出会って一年が過ぎた。そして別れて三カ月が経つ。

あたしは何も変わらない。変わったのは俊介を思う気持ちだけ。

あたしは二回俊介に嘘をついて裏切った。

俊介もあたしに嘘をついた。

あたしに

「付き合って」

と云った言葉のうらにあたしはふと俊介には好きなヒトがいたことに気付いた。

あたしは二番目。

あたしはずっと前からそれを知ってた。あたしはほんの少し俊介が好きだけど本命が無理だからとあたしに乗り換えた俊介はイヤになった。

「俊介、あたしの事好きじゃないでしょ？」

傷つきたくもつかせたくもなかった。

「お前も俺のこと本気じゃないだろ？」

じゃあ云うなよって話。

「付き合ううちに好きになるもんだよ」

そんなの分かんない。

いつ裏切られるか考えると怖い。

「好きなヒトいるくせに平気でそんなこと言わないで」
気づいたら言ってた。

「もういい・・・あのコは諦めたから」

って云ういつもの声がワントーン暗かった。

いかついけど優しく、強がってるけど本当は脆くて、頼りがいのある背中、あの香水の匂い・・・全部好きだった。

今頃同じ月見てるかな？

朝なのにまだ月が出てる。クリスマスが近いこんな寒い冬に一人は

ツライ・・・今頃誰といるの？

もう考えないようにしないと、と分かっているけどあたしのどこかに俊介は居て、現実に戻るとあたしは孤独の果てに突き付けられるようだった。

あたしはあたしの全てを失った。俊介からの電話は盗れなくなった。俊介の好きなコって？

ほら、また考えてる。

俊介がそのコと上手く行くためにあたしははいけない。

あたしは俊介にふさわしくない。

いつか二人がうまくいったら良かったねって笑って会えたらあたしはそれでいい。それがいい。

でも忘れなくていいよね？あたしが俊介を好きな事、俊介が一瞬でもあたしを好きになってくれた事。

忘れたくないよ。忘れたられない。

今頃どこかであたしと同じ月見てる??

あたしは少し泣いていつものセブンスターに火をつける。これが俊介に付いた最初のウソだった。

俊介はラーク。

あんまり吸い過ぎちゃダメだよ？そう言ってじゃあね。と切ったあの電話が最後だった。

そんな事を思い出したあたしは今度は泣かずに歩き出せた。

あなたに出会えて良かった。じゃあね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3286a/>

俊介

2010年10月9日23時42分発行